

2学期学校評価の考察と改善策について

平成30年度 南牧小学校学校評価システムの羅針盤				アンケート例示 上:保護者用 下:児童用				30年度 2学期の考察と3学期の改善策			
評価対象	評価項目	具体的数値目標	今年度の方策	結果 (数字%は「Aよくあてはまる」「Bだいたいあてはまる」の合計値)							
I 確かな学力の向上 (かしこく)	1 授業は、わかる授業となっていますか。	①「授業がわかる」と答える児童が90%以上である。	*小規模校の利点を生かして一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな指導を行っていきます。 *授業の工夫と改善を図り、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の向上に努めます。	保護者	お子さんは「授業が分かりやすい」と言っていますか。			よい評価が得られました。今後も、学習課題を明確にし、児童1人1人の学習状況を把握しながら、少人数指導を生かした授業改善に取り組んでいきます。さらなる学力の向上を目指し、楽しくてよくわかる授業作りを工夫していきます。			
				児童	授業はわかりやすい。						
				保護者	地域	職員	児童				
				100.00%	100.00%	100.00%	100.00%				
II 豊かな人間性の育成(やさしく)	2 家庭で学習をする習慣が児童に身に付いていますか。	②家庭で自分で決めた学習(含宿題)や読書などをしっかり行える児童が90%以上である。	*懇談会や学年だよりで家庭学習の仕方・例示・紹介を行い、学習習慣を身に付けさせていきます。 *「家庭学習の手引き」を活用し、家庭での自主学習の内容の充実を図っていきます。	保護者	お子さんは、家庭学習(宿題・読書を含む)を自分で決めて行っていますか。			おおむねよい評価が得られましたが、保護者の評価が1学期の値を下回りました。今後も「家庭学習の手引き」を基本とし、宿題や自主学習にいい取り組みを通して自ら学ぶ力を伸ばしていけるよう、学年に応じた指導を続けていきます。また、家庭学習への取組には個人差が見られますので、家庭と連携しながら個に応じた指導を行い、家庭でのよりよい学習習慣を身に付けられるようにしていきます。			
				児童	自分から、家庭学習(宿題・読書を含む)を、きちんとしている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				86.21%	—	100.00%	93.10%				
II 豊かな人間性の育成(やさしく)	3 気持ちのよい返事や挨拶をする児童が育っていますか。	③気持ちのよい返事や挨拶ができる児童が90%以上である。	*全体指導や日常的な学級指導、道徳科等の充実を通して継続的な指導をしていきます。 *言語環境を整えとともに、「みんなのやくそく」の定着を図っていきます。	保護者	お子さんは、家族や地域の人などに気持ちのよい返事や挨拶をしていますか。			よい結果が得られ、目標は達成しています。全体的には、気持ちのよい挨拶や返事のできる児童が育っていると言えます。しかし、保護者の数値から、学校外での挨拶にまだ課題があるように感じられました。今後も、様々な場面を活用して日常的に挨拶や返事ができるように指導を継続していきます。			
				児童	家族や地域の人たちに、いつも気持ちのよい返事やあいさつをしている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				96.55%	100.00%	100.00%	100.00%				
II 豊かな人間性の育成(やさしく)	4 いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	④いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	*小さい出来事も見逃さないように、日常の観察をしっかりと行い、毅然とした態度で指導を行います。 *いじめ防止基本方針に基づいた取組を行います。	保護者	お子さんは、今学期になっていじめを受けていませんか。			友達のことを考えない自己中心的な言動がトラブルにつながるがありました。すでに解消はしていますが、引き続きいじめの未然防止・早期発見・早期対応を学校全体で取り組んでいくとともに、思いやりの心を育てる指導をしていきます。			
				児童	2学期のあいだ、人からいじめられたことはない。						
				保護者	地域	職員	児童				
				85.71%	—	88%解消率100%	89.66%				
II 豊かな人間性の育成(やさしく)	5 自分のよさに気づき、夢や希望を持った児童が育っていますか。	⑤自分のよさや好きなこと、自分の可能性を伸ばすことについて、学校や家庭で話したり考えたりしている児童が90%以上である。	*学級や縦割り班の活動を通して、集団の中で自分らしさを発揮できる機会をつくります。 *当番活動や様々な係活動を通して、自己の役割を理解し積極的に行動できる力を伸ばします。 *児童が活躍している様子を、家庭に向けて発信していきます。 *目標をもち、自己理解・自己実現を図るキャリア教育の充実を努めます。	保護者	学校や学校以外の様々な活動を通して、お子さんのよさが発揮されていると思いますか。			おおむねよい結果が得られました。多くの児童が集団の中で自分のよさを発揮し、いきいきと活動することができています。一方で1学期同様、自分のことについて家族と話をする機会が少ない児童がいるようです。家庭で自分のことについて話す機会が増えるよう、学校・家庭・地域で連携した取組を大切に、学校から家庭へ児童のよさについて話題となるような情報発信ができるよう努めます。			
				児童	学級や縦割り班の活動で自分の役割を理解して進んで活動している。 学校のできごとや、自分の好きなことを、家の人と話すことがある。						
				保護者	地域	職員	児童				
				93.10%	100.00%	100.00%	96.55% 82.76%				
III 健康・安全・安心の推進(たくましく)	6 児童の健康を考えた適切な取組を行っていますか。	⑥毎日の食事の大切さを知り、バランスのよい食事をとっている児童が80%以上である。	*学校保健委員会、栄養教諭、管理栄養士等と連携し、全校でよい習慣づくりに取り組んでいます。 *体育部と連携し、体力テストの結果等を活用しながら、運動習慣の定着に向けた取組をしていきます。	保護者	お子さんは、食事・運動・睡眠など、基本的な生活習慣が身に付いていますか。			家庭の協力のもと目標は達成しています。前回と比べてとりわけ児童のポイントが上昇したのは、継続的・計画的な指導・支援の成果と言えると思います。一方で保護者の中には、課題と感じている項目もあるようですので、基本的な事柄を押さえたり、質的な向上を具体的に後押しするような働きかけをチャレンジシートの工夫や啓発の仕方、人的資源の活用も含めて、取り組んでいきます。			
				児童	食事、運動、睡眠など、規則正しい生活をしている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				96.55%	100.00%	100.00%	93.10%				
III 健康・安全・安心の推進(たくましく)	7 児童の体力の向上を考えた取組を行っていますか。	⑦休み時間や放課後に外遊びができる児童が95%以上である。	*業間休みを長めに設定し、運動や遊び環境の工夫、体育や体育的活動と連携させた指導を生かした取組を行います。	保護者	お子さんは、学校や地域の中で積極的に運動したり、遊んだりしていると思いますか。			保護者に関しては、目標をやや下回る値でした。「体力づくりこつこつシート」の活用を改善するとともに、寒さの中でも継続して、外遊びや運動ができるように方法を工夫し、児童に指導していきたいと思います。保護者との連携については、がんばりカードを使用するなど家庭でも運動に取り組めるような形を模索し、実施していきたいと思います。			
				児童	一週間のうち平日4回以上、休み時間や放課後に外遊びや運動を行っている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				86.21%	—	100.00%	96.55%				
III 健康・安全・安心の推進(たくましく)	8 学校の安全対策はとられていますか。	⑧避難、救護などを想定したシミュレーションを定期的に行い、危機対応の見直しを図っている。	*不審者・火災・地震等に対する対応訓練を計画的に行います。 *危険回避能力を身に付ける指導を計画的に実施していきます。	保護者	学校は避難訓練や不審者対応などの安全指導を、計画的に実施できていると思いますか。			おおむねよい結果が得られました。2学期は地震に対する避難訓練を2回行い、第4回避難訓練では、児童に実施日時を通知せずに行いました。どの児童もその場に合った対応ができていたと思います。また、避難経路・避難場所・避難の仕方について、共通理解を図りました。今後も避難訓練の意義を周知し、いざという時に避難できる力を身に付けさせる指導を充実させ、今まで同様に安全点検を行い、安全対策を継続していきます。			
				児童	教室・校庭・体育館で危険な場所があった時、気をつけることができる。						
				保護者	地域	職員	児童				
				100.00%	95.00%	88.89%	100.00%				
III 健康・安全・安心の推進(たくましく)	9 登下校時の安全対策が取られていますか。	⑨安全に注意して歩いたりバスの中で安全に過ごしたりできる児童が100%である。	*通学路の安全点検を定期的に行います。 *バスの安全な乗り方について指導していきます。 *その都度危険情報を示して指導を行います。	保護者	学校は通学路やバスの安全な乗り方など、登下校の安全確保のための取組ができていますか。			よい結果が得られました。学期の始めと終わりに集団下校を行い、通学路の安全確認やバス停での待機の仕方を確認・指導したり、登校班会議を行い、自分たちの登校の仕方について振り返らせたりしました。今後もより安全に登下校できるよう継続指導していきます。11月には、熊鈴を全児童に配付し、児童が安全に登下校できるようにしています。3学期も不審者や、猿・熊などの野生の動物に遭遇する危険性もあるので、保護者や地域の方と連携し、安全に登下校ができるよう指導していきます。また、3学期は、路面の凍結等も考えられるので、安全に登下校ができるよう指導をさらに充実させたいと思います。			
				児童	登下校のとき安全に歩いたり、きまりを守ってスクールバスに乗ったりしている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				96.55%	100.00%	100.00%	100.00%				
IV 学校と家庭・地域、保育園・中学校間の連携の充実	10 学校や児童の様子を保護者や地域の方に伝え、理解を得ていますか。	⑩「学校や児童の生活の様子が変わる」と答える保護者が90%以上である。	*学校だより、学年だより、ふれあいテレビ、ウェブページで学校の方針や様子を効果的に伝えていきます。	保護者	学校は各種たよりや通信物・電話・連絡帳・ホームページ・なんもくTVなどを通じて、保護者への連絡をきめ細かく行っていると思いますか。			大変よい結果が得られました。ホームページの更新回数を増やし、本校の教育活動を積極的に発信し、学校をより身近に感じていただくよう努めました。お便りなどの紙ベースの通信物を児童が確実に家庭に届けられるよう、声掛けをするなど、引き続き教育活動の様子を効果的に伝えられるよう努めていきます。			
				児童	学校だよりや学級だより・連絡帳などで学校や自分のことが家の人によく伝わっている。						
				保護者	地域	職員	児童				
				100.00%	100.00%	100.00%	96.55%				
IV 学校と家庭・地域、保育園・中学校間の連携の充実	11 保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	⑪授業参観後の懇談会に出席している保護者が90%以上である。	*学校公開日・日曜参観を設定したり、参加しやすいPTA活動を行っていきます。また、職員はいつでも悩みや意見を相談しやすい対応を心がけていきます。	保護者	学校行事や授業参観・PTA活動などは参加しやすいと思いますか。			保護者や地域の方が大変協力的で、よい結果が得られました。引き続き、学校行事や授業参観、PTA活動への参加の呼びかけを積極的に行ったり、スクールカウンセラーを活用して相談を受けやすい対応を心掛けたりしていきます。			
				児童	家の人や地域の方が業前や学校行事や授業参観などによく来てくれる。						
				保護者	地域	職員	児童				
				100.00%	95.24%	77.78%	100.00%				